

ニセの飯土にまじわって 日白山スキーツアー

CL 橋爪 豊田記

我々、日白山山行組一行6名は6:50上樽駅を出発した。寒さはさびしいが天気は快晴、雪もあつた上越国境の山々と青空とのコントラストが大変美しい。

先の上、数日前に降った雨で雪が少し、靴が全くぬり、心手抜いなので実に歩きやすい。車中聞いた、強い大陸高気圧がはり出してきたとか、吹雪いているとか、腰まで没するラッセルとか言う話とは大分、様子が違ふ様だ。どうやらあのバカ陽気以来、雪が降っていないらしい。

この日は、スキーヤーとして喜ぶべきことと悲しむべきこと、結果スキーを履いての登りは必要が、なげん残念、本道ラッセルを使ってみたかったのに、

群大と2つには8:35到着、所要時間/時間40分、これは夏タイムと大体同じである、冬も雪の状態さえ良ければ登山とあまり変わらない、と書いたところ、尾の尻尾根を登り始めてもまだ沢をくさしてはばの向かい、山頂までせきせき距離に歩いたところ、

あれ、飯土山で、石田氏、エツ子とか? 確かにどう言われればそれは似ていた。ツンと突つた様な山頂、頂上付近のそれはまさしく飯土山だ。飯土山は茶原側しか見たことはないので、東側から見るとこんな風なのかもしれない。飯土山は二人頂所にあつたつ、チーゴの山は近寄る、これでは日白山は飯土山の裏山と言つた感じではないか、飯土山を見た日白山はけさか、山頂か、か、様に見たと記憶している、だがその時は確信がなかつた。

結局、これは「よく似た別の無名山」ということが、もつとこのおれ登つた所で本物の飯土山が見えてきたわかつた、なのであるが、M氏のその自信たつた様子に他の人達

さるもの、その時はいづかた探さぬ。40、日白山の肩の部分に到着、スキーをテオして頂上へ、ピークはツモリセリ上がった様になつており、左は木の生えていない急斜面、しかもガリガリに凍つていて足を滑らして滑落しようと思つた。実は僕と橋爪さんの二人は頂上からの滑降を夢見てスキーを頂上までかつぎ上げたのであるが、これを見てアツさり断念、みんなは頂上へ降りたので、これではチョットヤバイ、それに、もしもここにあるとみんなに迷惑がかかるね! 今回の山行は、全てのコンディションが良く、日目でピークに達してしまつたが、僕が求めていた登り、先には降りると言う本格的なスキーとしては小スキー同好会に入って始つてあり、強引な隊に残つた山行でありたいらう。

この日はかなりおもしろい書いていけるのであるが、その話高津倉山、白毛門、さらにこれが「ラ・ネーゴ」に載る頂には、さらにいくつかの山行を重ねているので、そして、その山行回数も分たつた、いろいろ教訓を得たので、人は教訓を自分のものにして成長する、これからはさらにさらに歩み続けよう、山スキーと言われるものもやってみよう。

都教育会館
司会 菅沼

3月 5日(水)
例会報告

- 山行報告
 - 2月9日~11日 東嶺スキーバス
 - 2月17日 高津倉山(大丸山)
 - 2月23日~24日 根子、四阿山
 - 3月18日~20日 安達太良山
- 山行計画
 - 3月9日 白毛門
 - 3月20日~23日 守内岳、浅草岳、白馬岳
 - 4月12日~13日 芝倉沢
- 軽量化についての話し合い

全員がひとことずつ発言した。軽量化に併せて軽量化のトレーニングも必要という意見が多かつた。

山行計画

納会	一の倉沢、芝倉沢
5月17日~18日 (18日のみ可)	
×切 --- 5月7日	
係 --- 長谷川 石田 佐々	
初級次	奥多摩
6月1日	
×切 --- 5月26日	
CL --- 菅沼	

★8回企画会 4/9(水) 18~21

御茶の水 丘 地下

★予告、5月例会で企画にかつての反省と希望の意見交換をほす。

☆求人募集<急募> バイトあり!

4月の10日間 青木鉱泉で働いて下さる女性の方(特に)連絡下さい。あるいは 青木鉱泉連絡所 (詳細)高溝まで TEL 03(419)2290 (南アルプス) 堤 宏方 TEL 0422(57)2313

談話室 4/15(火) 御茶の水 丘 水沢

PM 6:30

5月号 原稿	原稿 梅原彬暉 TEL 399-7590 〒167 杉並区桃井1-29-1 新住	2007年 4.22 必着	Eメール 4.25
-----------	---	---------------------	--------------

か、高尾山にせうどりつてほしい。
滑降雑誌の
ら、お-じら が、ここのから、梅原氏
は中で作つたのが代りだつた。(S)